

日時： 令和5年7月21日（金） 19：00～21：00

場所： 前橋市総合福祉会館 2階 いきいき談話室

テーマ： 「ところで相談支援ってやること多すぎませんか?!」
～お茶でも飲みながら、ゆっくり語り合いましょう～

参加者： 23名（会員22名 非会員1名）

内容： 今回は、あらかじめ興味・関心のあるグループを選んでいただき、前半・後半それぞれ5～7人のグループに分かれて話をしました。

参加するグループごとに異なる自己紹介カードが配られ、開会前からあちらこちらで「なんて書きました？」などと和やかな会話が聞こえてきました♪

定例会終了後もあちこちで集まって話題が尽きない感じがとても印象的でした。

それぞれのテーマ別グループで出た話題は以下のとおりです。



【相談支援のイロハの「イ」から知りたい♪グループ】

- 市町村による差について
手続きの仕方や提出書類の微妙な違い、同じことでも認めもらえる/もらえないがある、支給決定期間の格差、地域生活支援事業の違い、などなど
- 時間外の相談対応について
24時間体制で携帯電話持帰り。留守番電話、何時まで折り返す？LINE交換どうしてる？
- 請求事務について
法人がしている？相談支援事業は相談で？一人事業所だと全部自分でしないと…
- 個別避難計画について
大切なのはわかるけど、これ以上仕事が増えるのは…、作成費の補助があるか？
- 気持ちの切り替え方、自分のメンタルの保ち方について
所内でお互い吐き出し切り替え！誰かに聞いてもらう！食べる！趣味に没頭する！
- 基本情報に記載すべき内容について
経過が長くなると支援経過の概要が膨大になる。全くないのも困るが、ありすぎても…
- 担当件数について 適正件数は何件？→50件、60件、80件
100件超えると顔がわからない、対応の留意事項を忘れるなど弊害出てくる…
- 勤務形態について 現場との兼務は、時間もそうだが気持ち的に大変
- 日程調整が大変 関係者が多いほど大変 連絡する時間帯が限られる人もいる…

【職場内研修や人材育成について聞こう！話そう！グループ】

- 所員に研修に参加してもらうにはどうしたらいいか
何を知りたいか聞き企画する 外部から呼んでやってもらう(他事業所と合同ですのもよし!)
- 地域で人材育成どうしてる？
地域生活支援事業の理解・啓発の予算で講演会を開催 管理職級に相談支援の大事さ理解を地域の相談支援事業所で合同会議・定例会を定期的に行う・参加している

- 事例検討について 一緒にやってくれる人、事例提供者がない…
本来は事例提供者がお得なはず。提供する側の心配・不安を軽減するために、グラドルールを定めたり、検討したいことは何か明確にしたりすることも大切では？
- 後進育成の悩み
役職がつくと、こちらは横並びのつもりでも関係性に影響がでることも…
指導がハラスメントにつながることも…線引きが難しい 焦りすぎないことも大事！
ケースを引き継いだ後、うまくいくケースとそうでないケースある…
「この人だからできる」ではなく、誰でも同じように支援ができるように育成していかないと
- 一人事業所あるある 他人の意見ややり方を受け入れられなくなることも…

【経営について本気で語ろう(..)のグループ】

- お金の話
福祉界ではどうしてもタブーとされがちだけど、絶対大事！
- 事業所運営の話
経営をするかしないか迷う人は多分しないかな…
人生一度きり、やりたいならやっちゃえ！



【「ちょっと聞いてくださいよ〜」気楽に話そうグループ】

- 時間外に訪問依頼や落ち着かない利用者の件で連絡があったらどうしてる？
今日も終業時間に警察から依頼あったが、断って定例会に来た。だが心が少し痛んだ…
どこまで対応すべきか市とも相談して、入りこみすぎないようにしている
- 夜間、休日の緊急対応どうしてる？
相談を受けても市役所が休みで対応に困ることがある
近くに家族がいるのに、家族に遠慮して相談員に電話がくる…
自分のメンタルが危ないと思った時に上司が携帯電話を預かってくれたが、そういう時に限って電話が鳴らない…



研修ではなく定例会ということで、同じ相談援助職同士、普段感じていることや言いたかったことを安心して語りあい、共感しあい、そして元気になる、そんな時間になっていたのではないのでしょうか 🍷